

# 情報通信月間参加行事 実施報告書


行事ID	C067	行事名	総務省における医療・健康等分野における取組
行事形式	セミナー	主催団体	一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ) 保健医療福祉ICT推進委員会
開催日	11月10日 13:00~14:30	開催場所	オンラインセミナー 録画を後日公開
行事参加者数	9名	WebサイトURL	<a href="https://www.ciaj.or.jp/">https://www.ciaj.or.jp/</a>

## 行事実施概要・アピール等

少子高齢化に伴う社会保障費の増大、地域における医療資源の偏在・格差という課題が生じています。こうした中、持続可能な医療の提供体制確保に向け、ICTを活用した遠隔医療の推進や、個人の保健医療情報（パーソナルヘルスレコード：PHR）の活用による健康増進などの取り組みが重要となっている。

講演では、総務省における医療・健康等分野へのICTの活用によって社会課題を解決するモデルづくりやICTの活用におけるルールづくりに関する取組みについて紹介頂いた。

←ロードパイス・・・セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。



総務省  
Ministry of Internal Affairs and Communications

### 総務省における医療・健康等分野における取組

総務省情報流通行政局  
デジタル企業行動室  
藤井 信英

### PHRの目指すべき姿

● 今後、保健医療分野では、予防・健康増進の重要性が高まるともに、個別化されたより効果的な介入等への期待が高まっている。

● そのためには、保健医療情報の適切かつ効果的に活用できる環境を整備することが必要。具体的には、

- ① 国民・患者が自らの保健医療情報を適切に管理・取得できるインフラの整備
- ② 保健医療情報を適切かつ効果的に管理できる環境の整備
- ③ 質の高い保健医療を実現するための保健医療情報の活用（研究開発等の推進）

を目標し、取組を進めていくことが必要。

**STEP ①** 国民・患者が自らの保健医療情報を適切に管理・取得できるインフラの整備

- 保健医療情報をデジタルデータとして、マイナ・カードが連携可能なインフラなど、信頼性の高い環境の整備。

**STEP ②** 保健医療情報を適切かつ効果的に活用できる環境の整備

- 安全・安心に取組むためのセキュリティ対策を適用できる環境の整備。
- マイナ・カードのAPI連携など、円滑に情報活用できるインフラの整備。
- データ活用をベースとした新たな保健医療サービスの提供。

**STEP ③** 質の高い保健医療を実現するための保健医療情報の活用（研究開発等の推進）

- 効果的な保健医療サービスの提供の基盤となる評価や研究開発の推進。
- そのための、Dxの構築や一元利用（二次利用）などの取組。

国民・患者が主体となった保健医療情報の活用の実現

国民・患者のニーズに沿って個別化された効果的な保健医療サービスの提供

保健医療の発展

国民本位のSociety 5.0に向けた新たな経済づくりの実現

2年間で集中的に推進する

将来的な達成

※4は目標値、①は個人情報利用推進計画、②は3年度医療情報連携計画WG.3.0第2回討議等情報利用WG.4(令和2年10月21日)資料08-1(一部改定)